

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー : 情報デザイン演習 ILAS Seminar : Information Design Practice	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Institute for Information Management and Communication Professor, MORIMURA YOSHITAKA Institute for Information Management and Communication Associate Professor, ONO, Eiri		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	10 (10)
<b>Target year</b>	1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Wed.5
<b>Classroom</b>				<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	情報デザイン / グラフィックデザイン / プレゼンテーション				
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
<p>情報はそれを伝えられる対象にとって理解しやすいように伝えなければ成立せず、その「伝わりやすさ」を工夫することが情報デザインであると言えるだろう。</p> <p>本セミナーでは主に視覚を通じた情報デザイン（グラフィックデザイン）の考え方を実践的に理解・習得することを目的とする。情報デザインの考え方は専門的なデザイン制作に限らず、各種の資料作成やプレゼンなど社会生活における様々な場面で必要となる。そこで本セミナーでは特に1回生を対象に、今後の学習や研究活動において役立つよう資料作成の考え方・手法を実践的に学ぶ。具体的な内容としては、Microsoft PowerPoint等のグラフィックツールの操作方法を習得し、情報デザインの考え方に基ついていくつか制作を行う。制作物は受講者同士で意見し合うことを想定している。情報デザインで利用可能なツールは多岐に渡るため、受講者各位で取り組みたい課題があれば本講義の意図に合致する範囲で希望を優先する。</p>					
<b>[Course objectives]</b>					
<p>情報デザインの基礎的な考え方を習得する。</p> <p>情報デザインに基づいて資料を作成または改善できるようになる。</p>					
<b>[Course schedule and contents]</b>					
<p>以下に基本的な流れを示すが、状況により講義内容や制作内容を変更する可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報デザインの基礎</li> <li>2. グラフィックデザインの基礎</li> <li>3. 制作[1]</li> <li>4. 知的財産</li> <li>5. ロジカルライティングの基礎</li> <li>6. 制作[2]   ポスター</li> <li>7. 制作[2]   ポスター</li> <li>8. プレゼンテーションの基礎</li> <li>9. 制作[3]   プレゼン</li> <li>10. 制作[3]   プレゼン</li> <li>11. ゲストによる講演</li> <li>12. 制作[4]   自主制作</li> <li>13. 制作[4]   自主制作</li> </ol>					
Continue to ILASセミナー : 情報デザイン演習(2)					

## ILASセミナー：情報デザイン演習(2)

14. 制作[4] | 自主制作  
15. 発表・フィードバック・合評

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

制作物（4回）により評価する。  
制作物については到達目標の達成度に基づき評価する。なお、独自の工夫が見られるものについては高い点を与える。  
なお、4回以上授業を欠席した場合にはF（不合格）とする。

### [Textbooks]

Not used

### [References, etc.]

（References, etc.）

田中克己・黒橋禎夫[編] 『情報デザイン』（共立出版, 2018）ISBN:4788514346  
ガー・レイノルズ 『プレゼンテーションZen』（丸善出版, 2009）ISBN:4621306200

### [Study outside of class (preparation and review)]

- ・ 授業進度に応じて使用ツールの習得に不安があれば復習してほしい
- ・ 不明点が多く授業内容をフォローできない場合は教員に連絡すること

### [Other information (office hours, etc.)]

- ・ PowerPointは使えることが望ましい
- ・ 質問があればメールにて常時連絡可

### [Courses delivered by instructors with practical work experience]

(1) Category

A course with practical content delivered by instructors with practical work experience

(2) Details of instructors' practical work experience related to the course

- ・ 研究活動に関わるグラフィックデザイン支援（研究概要図、等）
- ・ 各種学術機関のデザイン制作（ロゴ、ウェブサイト、等）

(3) Details of practical classes delivered based on instructors' practical work experience

制作に関する各種スキル